

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔衣料・雑貨〕（店長）	・観光客の増加に伴い、来客数の増加が見込める。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・SARS問題が終息に向かえば、沖縄観光の好調が期待できる。危険な海外よりは安全な国内、特に夏は沖縄というリピーターも増えており、航空運賃も安くなっていることから、イラク戦争で控えた客の沖縄旅行への切替えに期待をしている。 ・沖縄観光ブームの再来が起きるような気がしており、観光客が増加すれば街に活気が出てくる。
	変わらない	百貨店（担当者）	・売れ筋の商品が出ていない状況であり、今後も特に変化はない。
		スーパー（経営者）	・去年から引き続き、この2、3か月もかなり厳しい状況にある。特に今年に入って大型店の出店、競合店の出店が相次ぎ、来客数にも影響が出ている。今後も競合店、あるいは大型店舗の出店等が予想されるので、景気の先行き不透明感は否めず、現在の状況が当分は続く。
		スーパー（企画担当）	・競合各社の新店舗の出店増加によりオーバーストア状態が続き、価格競争はますます激しくなり、客単価は上がらず、売上が伸び悩む状況がしばらく続く。
		衣料品専門店（経営者）	・ゴールデンウィーク後の客の商品に対する反応が例年に比べて鈍い。しかし中には、安いから買うというよりも、少し高くても良い物を探す客も少数だが増えている。
		家電量販店（副店長）	・去年までのデータでは、例年、夏場は売上が伸びる傾向にあるのだが、今月の売上状況や客の流れからみると今後も厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（総務担当）	・売れ筋の商品が出ていない状況であり、今後も特に変化はない。
		高級レストラン（副支配人）	・各ホテルや旅行会社などではイベント等を計画しているようだが、現状として特に良い材料はみられないため、今後も変わらない状況が続く。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・SARSの影響で、海外からの振り替え旅行などで一時的に沖縄に観光客が来ているが、最近では沖縄を地理的に心配する客からの声が多くなっており、不安要素がある。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響や国内景気の先行き不透明感の強さなど、不安定要素が目立っており、また、個人消費もかなり落ち込んでいる。宿泊単価の低迷以上に料飲部門の落ち込みが激しく、この傾向はしばらく続く。
		観光名所（職員）	・SARSの影響による大幅な出控え現象がしばらく続き、今後も来客数の増加は望めない。
		ゴルフ場（経営者）	・現在、SARSの影響で減少した旅行客を集客するため、航空会社、旅行会社が沖縄へのゴルフ旅行パックを増やす動きが一部にあるが、大きなインパクトは現状ではあまり期待できない。
住宅販売会社（従業員）	・住宅減税効果による受注もピークを過ぎ、今後、マイホーム建築を検討する世帯は限られてくる。		
やや悪くなる	一般小売店〔菓子〕（企画担当）	・職場の慰安旅行として予定されていた沖縄旅行が、SARSの懸念により取りやめたとの話が身近であったことから、SARSの影響は否定できない状況である。	
	百貨店（総務担当）	・イラク情勢は落ち着いたものの、SARSがアジアを中心に猛威を振るっており、万が一日本に上陸すると多方面に悪影響を及ぼす恐れがある。	
	コンビニ（経営者）	・学生アルバイトを採用しているが、かつてはアルバイトをする目的としては、小遣いや交際費稼ぎが主に聞かれたが、昨今は親元からの送金の減少などからつまり生活費のためにアルバイトをしたいとする学生が多くなっており、苦学生が増えている。 ・アルバイトの定着率も高くなっている。	
	コンビニ（エリア担当）	・取引業者からの話でも、前年98%ぐらいで御の字という声をよく耳にする。なかばあきらめムードを感じる。	
	コンビニ（エリア担当）	・スーパーマーケットの24時間営業店舗の増加や同業者間の競合が激化する。	
	旅行代理店（経営者）	・SARSの影響で大幅な出控え現象がしばらく続く。	

		住宅販売会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告を出しても、営業力を強化しても、成約数は低い水準で推移しており、客の反響が弱いというのが現状である。 ・ 今度当社は分譲住宅から撤退するため、ますます当社の業況は厳しい。
	悪くなる	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここ数か月で、売上不振により商売を辞めた店舗が数箇所あり、その他の店舗についても日々売上が外周部の大型店等の出店により客割れ状態を起こしていることから、中心商店街は危機的状況にあり、今後も大変な状況におかれる。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒税の改正やSARSによる不安感などへの対策として、極度の安売り合戦等厳しい営業が続いているが、もし、SARS患者が県内にも出た場合、3～6か月の間、売上が激減することが危惧されることから患者が出ないのを祈るのみである。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ SARS問題に左右される面もあるが、逆に追い風となれば良くなる。
		輸送業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 量、金額共にさほど期待はできないものの、依頼件数はある。
	変わらない	通信業（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業からの案件に関しては今後ますます厳しくなり、利益確保は困難な状態になることが危惧されるが、他方、最近では大学院大学に関する話題をメディアが取り上げる数が増えていることから、行政関連の依頼が増えるのではないかと期待される。しかし、結果的に業界全体としての景気は大きくは変わらない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き合い件数の減少と、1件当たりの打合せ期間の長期化傾向がみられる。
		不動産業（支店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景気が良くなる材料がみあたらない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい依頼が今までにないジャンル、職種の人材依頼などおもしろい動きも出てきており、そこに対する人材提供ができれば仕事の幅も広がっていくのではないかと感じている。しばらくは派遣依頼増加の要素がみられるので今後も少しは良くなる。
		人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人数自体は微増の傾向にあるが、企業が求める条件等は厳しく、また、求めるレベルを下げてまでは採用しないとす企業の姿勢がみられる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先行きが不透明なため、今後の景気については予測が難しい。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今月後半から求人確保できた会社が増えているものの、今後も厳しい状況が続く。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規求職者は5,802人で前年度に次いで1.9%増となっており、増加の要因としてはパート求職者が8.9%、中高年齢者の求職者が3.7%とそれぞれ増加したことが挙げられる。 ・ 新規常用求職者4,695人の離職理由の主な構成比をみると、自己都合退職者が1,969人、事業主都合離職者が1,944人となっており、前年同月との比較すると自己都合離職者が4.7%、事業主都合離職者が15.6%とそれぞれ増加している。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人数は若干増加しているものの、企業側の採用動向が前倒し傾向にあるため、今後新規の求人が増加しない限り雇用状況は好転しない。 	
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-